

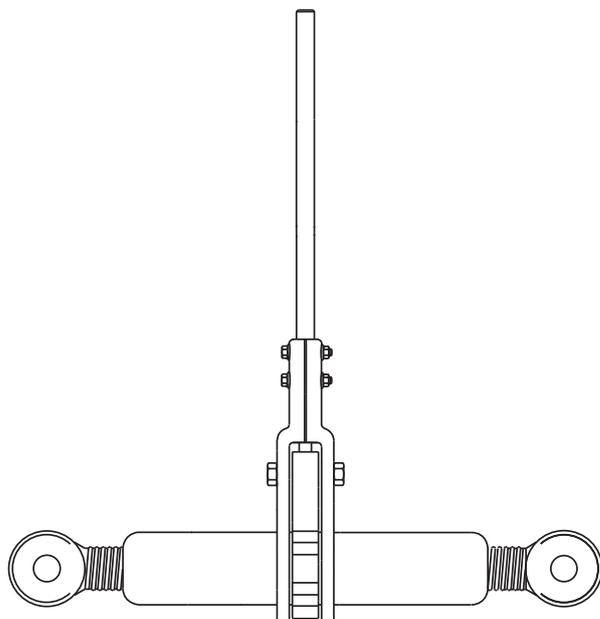
06/2017

# ラチェット式ジャッキ

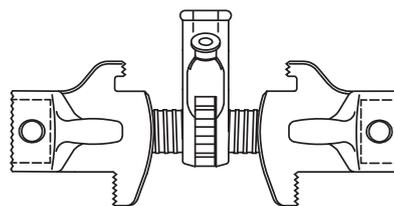
## ER型 (178kN)

## 610型 (89kN)

型式 ●ER-10 ●ER-20 ●ER-30  
●ER-40 ●610



ER 型



610 型

POWERFUL SOLUTIONS. GLOBAL FORCE.

Japan Web サイト

エナパック株式会社

カスタマーサービス部

埼玉県さいたま市北区别所町85-7 〒331-0821

TEL.048-662-4911(代表) FAX.048-662-4955

E-Mailアドレス : [info@enerpac.co.jp](mailto:info@enerpac.co.jp)

<http://www.enerpac.co.jp>

●この取扱説明書の内容は、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

## 重要伝達事項

ご使用の安全のために

1. 本製品は、当社の取扱説明書をよく読み、製品を十分に理解して、危険性を熟知したオペレーターにより運転・操作・保全を行ってください。
2. 本製品を納入稼働後、貴社にて改造・変更を行って、不具合・事故が発生した場合は、弊社のPL補償の対象となりませんのでご了承ください。
3. 本書に記載されている安全注意事項は、身体や機械の損傷レベルにより、次の3レベルに分けて記載してあります。危険度の高い安全注意事項に特に気をつけて作業を行ってください。

**危険** 当該記載事項を厳守しないと死亡事故を招く恐れがあるもの。

**警告** 当該記載事項を厳守しないと機械及び身体に重大な損傷を招く恐れがあるもの。

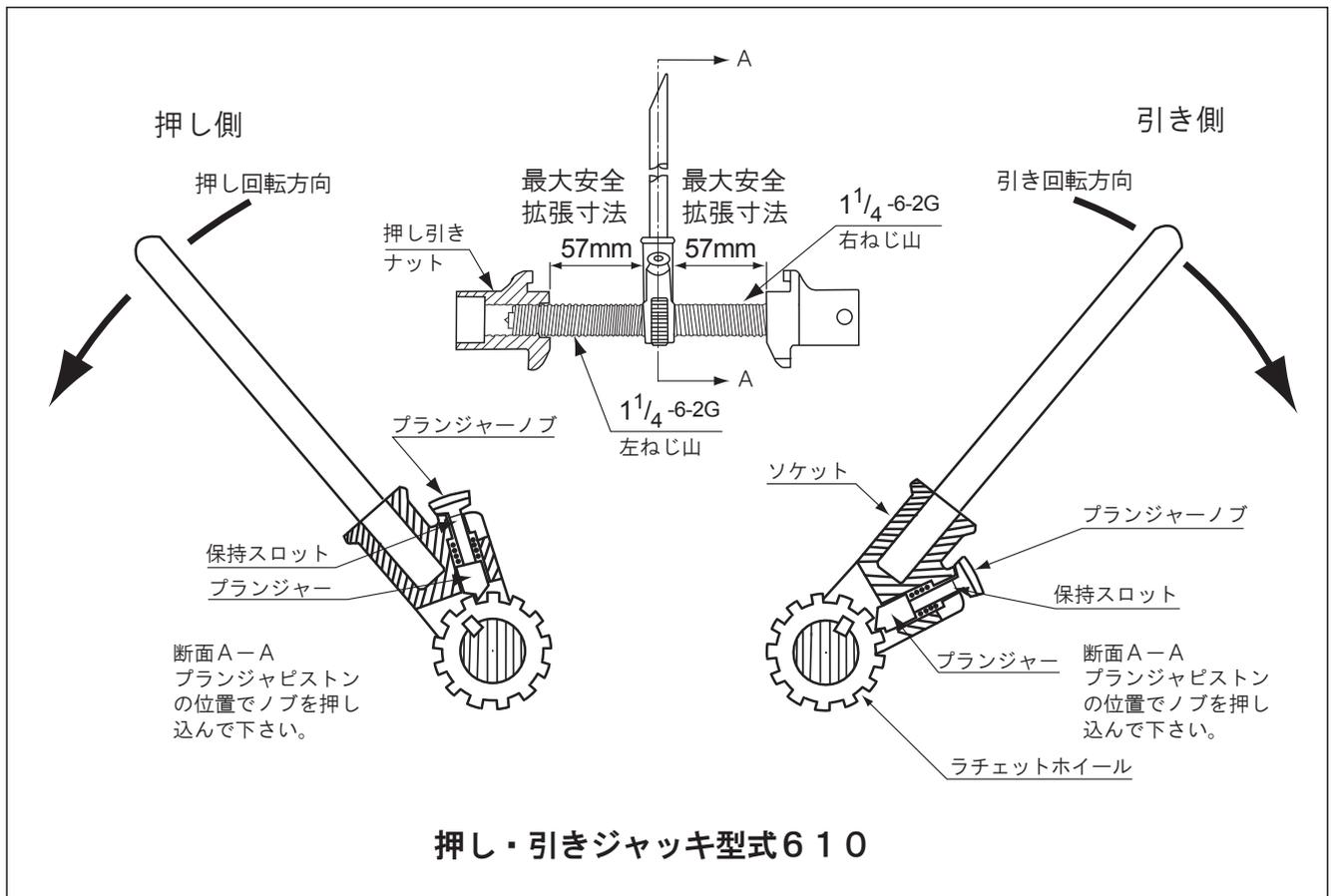
**注意** 当該記載事項を厳守しないと機械及び身体に損傷を招く恐れがあるもの。

## ラチェット式ジャッキの取扱説明とメンテナンス方法

**警告** ジャッキを操作する前に、ジャッキの操作方法を読んで、良く理解して下さい。そして全ての安全操作手順と、安全注意事項もまた読んで理解して下さい。更に、一般的な安全原則と、装置の所有者やその他管理者による事故防止対策に従って下さい。

### ラチェット式ジャッキ操作方法(ER)・(610)

**型式(610)**を下記の図のように、押しまたは引き作業で使用するためにジャッキを据え付けて下さい。ジャッキが適切に位置合わせされ、ジャッキが滑ったり、荷がずれたりしない方法でロードポイントへ適切に確保されているかを確認して下さい。下記図(A-A)に見られるように、押し引き操作のためにラチェットホイールへプランジャーを堅くかみ合わせて下さい。ハンドル棒を確りと握り力を加減しながら、荷を移動させるためにスクリューを回転させて下さい。(次ページへ続く)



押し・引きジャッキ型式610

### 仕様表

型式	押し・引き能力 注1 (kN)	フック片側使用時 引き能力 注2 (kN)	ストローク (mm)	最大ハンドル 操作力 (N)	ネジ外径 (mm)	質量 (kg)	ハンドル棒 (別売)			
							型式	長さ (mm)	径 (mm)	質量 (kg)
610	89	18	114	667	32	5.9	10621	610	19	1.8

注1 ネジ棒の中心での能力を示します。

注2 ネジ棒の中心を外れた場合を示します。

**型式(ER10~ER40)**下記図のように、引きで使用するためにジャッキを据え付けて下さい。ジャッキが適切に位置合わせされ、ジャッキが滑ったり、荷がずれたりしない方法でロードポイントへ適切に確保されているかを確認して下さい。**押し作業に使用しないで下さい。**ハンドルを確りと握り、力を加減しながら、荷を移動させるためにスクリュウを回転させて下さい。

**型式(ER-10~ER-40)・(610)**

**警告** ジャッキにはストッパーが装備されていません。そのため最大安全拡張寸法(610)やストローク(ER-10~ER-40)を超えて拡張するためにナットを使用しないで下さい。指定された寸法を超えて拡張するために操作を続ければ、ネジの損傷や、人身事故を引き起こします。

**型式(610)**

**注意** ストロークする前に、プランジャーノブをホールディングスロットの位置に確り入れて、そしてプランジャーが適切にラチェットホイールにかみ合っているかを確認してから、ハンドル棒に力を加えて下さい。

**型式(ER-10~ER-40)**

ハンドルでストロークさせる前に、ジャッキの方向切替用歯止めが、確実にラチェットホイールにかみ合っていることを確認して下さい。

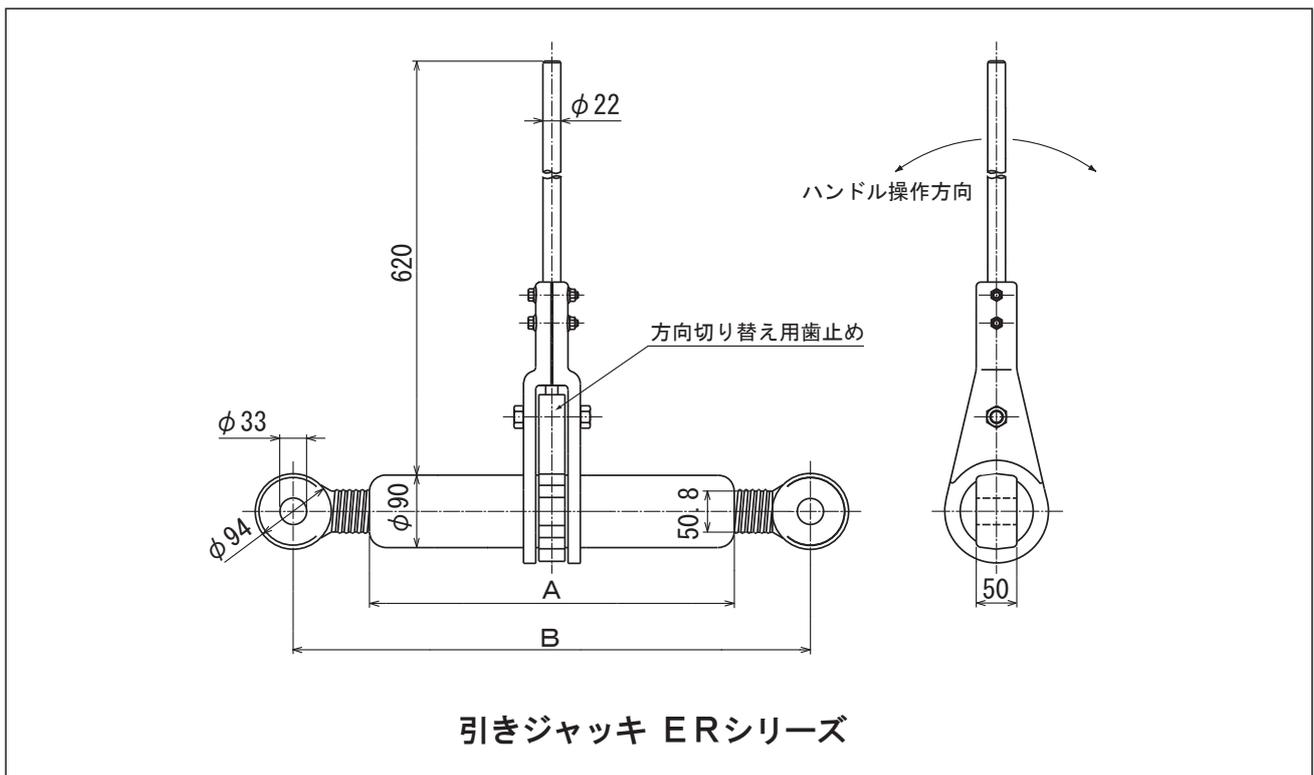
**型式(610)押し・引き操作方法**

**押し(拡張)**

プランジャーノブを引っ張り、プランジャーを保持スロットルからはずし、180°回転させて、前頁の図の押し側A-A部分図が示すプランジャーの歯止め位置で、ラチェットホイールへプランジャーが的確にかみ合うようにプランジャーノブを下ろして下さい。そしてレバーを回転させれば、ナットで押すことができます。

**押し**

プランジャーノブを引っ張り、プランジャーを保持スロットルからはずし、180°回転させて、前頁の図の引き側A-A部分図が示すプランジャーの歯止め位置で、ラチェットホイールへプランジャーが的確にかみ合うようにプランジャーノブを下ろして下さい。そしてレバーを回転させれば、ナットで引くことができます。



仕様表

型式	ボディ長さ A (mm)	最短ピッチ B (mm)	ストローク (mm)	最大 ハンドル 操作力 (N)	質量 (kg)
ER10	457	584	356	1423	25.9
ER20	610	737	508		30.3
ER30	762	889	660		33.6
ER40	1067	1194	965		41.8

## 安全手順と安全事項

1. 使用する前に、作業者は具体的な作業のための安全で確かな使用方法を有資格者から指導を受けて下さい。

**△警告** この書類どおりに適応されたジャッキが、一般的で、または特定の使用方法の全てに適していることを保証するものではありません。そしてそこから生じる全ての責任を使用者が請けなければなりません。

2. 裏面で書かれた一般的な安全原則や事故予防対策を遵守し、ジャッキを使用する前にジャッキの損傷、適切な潤滑そして摩擦に対して、有資格者による全てのジャッキの外観検査を受けて下さい。ジャッキを具体的な作業に使用する前に、全ての機器が機能し、作業に適した状態であることを確認するために、荷をかけないで作業手順どおりの操作をして下さい。損傷があり、潤滑の不適切なジャッキを決して使用しないで下さい。検査で使用に適さないジャッキは、指定サービスショップで修理されるまで、作業に使用しないで下さい。

3. ジャッキの能力とストロークが作業に適合しているか確認して下さい。

4. ジャッキを荷作業で使用する前に、ジャッキが適切に設置され、確りと確保されているかを確認して下さい。(裏面の操作方法を参照)

5. ジャッキ型式で指定されたハンドル棒やハンドルを延長して使用しないで下さい。

6. ジャッキを使用する前に、ハンドル棒・ハンドルの往復操作の作業範囲内で、器物などが妨げにならないように作業者は確認して下さい。作業者は付属品の状態を点検し、全ての付属品が確保されているかを確認して下さい。

7. 荷作業でジャッキを操作する前に、裏面の操作方法を読んで下さい。ジャッキを適切に位置合わせしてから、用心深く注意して荷作業を行って下さい。

8. ジャッキを使用しない時は、ソケットからハンドル棒を取り外して下さい。

### (型式 ER-10~ER-40を除く)

放置されてソケットから突き出ているハンドル棒は人身傷害の危険を引き起こします。偶然のハンドル棒との接触はジャッキの位置を移動させ、荷の落下を引き起こします。作業終了後に放置されたハンドル棒は大変危険です。

9. 荷をジャッキだけで恒久的に保持し、残存させないで下さい。ジャッキの荷作業が終了した後、固定された保持器を設置し、荷を恒久的に確保するようにして下さい。

**△警告** 10. ジャッキによる荷作業が完全に終了するまで、荷の上やまたは荷の間に人員を近づけないで下さい。荷は適切な荷を受けておく物、または OSHA 安全衛生基準に従って設置された支持器、そして安全エンジニアまたは権限を持つ有資格者に承認された、荷を受けておく物や支持器を設置して下さい。

11. ナットで、決められた拡張範囲を超えて操作しないで下さい。(裏面の操作方法的警告を参照下さい。)ジャッキ操作時に、荷の表面やナットに固定物が接触しているにもかかわらず、更にジャッキを拡張したり引き戻したりする目的で、ハンドル棒やハンドルの上に立ち上がったり、蹴ったり、跨ったりして、決してハンドル棒やハンドルに力を加えないで下さい。ハンドル棒やハンドルをハンマーで叩いたり、揺らして押さないで下さい。そのような行為は、ジャッキの損傷と故障の原因になります。そしてその行為で生じる、引っ張り強度に大きな負担をかける突然の荷重の急増は、ジャッキの過負荷とスクリーンの破損を引き起こします。そして人身傷害の危険をまねくことになります。

## メンテナンスと潤滑方法

1. 左記の2. の手順に従って使用経験、または権限のある有資格者の指示により決定された、定期保守と潤滑を実行して下さい。

2. ジャッキをきれいに保ち、砂などが付着しないようにして下さい。そしてジャッキを常に正常な状態に維持し、頻繁に注油して下さい。

3. #2のグラフアイトグリスを全てのねじ山へ注油して下さい。

4. グレードの高いSEA20WTで、全ての駆動部分へ定期的に注油して下さい。スプロケットの歯面やプランジャーへの注油を避けて下さい。

## リペーパーーツを参照下さい。

パーツシート #54140

## 保証について

### 1)保証期間

ご購入日より1年間

### 2)保証事項

通常のご使用で当社の責任に起因する材料、製造上の欠陥が上記保証期間内に発生した場合は、出張修理には対応しておりませんので、商品を弊社に戻して頂いて調査確認後に、無償修理または新品と交換を致します。原則的に調査報告書もお受け致しておりません。また、欠陥や故障に付随して発生する二次的損害および製品の取外し、取付けに関するなどの附帯費用に関して、当社は一切の保証および責任を負いませんのでご了承ください。

### 3)保証適用除外事項

- 製品の誤った選定、誤ったシステムの下で生じた事故、それに伴う他の損害が発生した場合。
- 当社に相談了解なく変更や、改造された場合。
- 過酷な使用による消耗部品の損傷や摩擦による場合。
- 当社製品が、装置や設備等に組み込まれた事故に対する損害。
- 当社製品の故障によって誘発される損害。
- 自然災害による損害。

### 4)特記事項

- 海外で購入された場合は有償修理になります。
- カタログ標準品を輸出された場合は、海外の当社グループ会社が有償修理致します。
- 特注品を輸出する場合は、事前にアフターサービスについての契約がされていないと、現地修理は受け付けないことがあります。